

働ける高齢者は、今後、ますます増加します。 旅館業で有効に活用しましょう。

わが国の労働力人口の5人に1人は60歳以上の高齢者になり、少子高齢社会が到来しました。今後、働ける高齢者は増えていきます。

旅館業にはいろいろな仕事や勤務時間帯、雇用形態のあることが他産業と大きく違う点です。旅館業はまさに高齢者活用のステージです。

すでに求職者の多様なニーズを受け入れる基盤ができているため、高齢者の活用は経営に大きなメリットがあります。うまく活用しましょう。

高齢者をうまく活用した事例は、たくさんあります。 雇用する絶好のチャンスです!

- 高齢者の豊かな経験を活かしていますか。
- ハローワークやシルバー人材センターを活用していますか。
- 高齢者を雇用すると助成金等が受けられるのをご存知ですか。
- 高齢者の活用は短時間勤務や分業化が有効です。
- 前職経験を活かし、旅館で生き生き働いています。



○ 高齢者の豊かな経験を活かしていますか。



伊豆・網代温泉
大成館 社長
駒嶺 洋氏

私は、“旅のソムリエ”として活用しています。

地元の楽しみ方を案内する専門家の配置

私は、“旅のソムリエ”として高齢者を高齢者ならではの特質を活かし、活用しています。“旅のソムリエ”とは、旅行形態が、団体から小間・グループへとシフトしてきた現在、観光客一人ひとりのニーズに細かく対応するため、料理界の「ソムリエ」に習い、地元若手経営者有志による宿泊システム研究会が創設した画期的なシステムの一つです。

この“旅のソムリエ”に要求されることは、お客様へのホスピタリティはもちろんのこと、地元ならではの楽しみ方、街の魅力を充分に知りつくしているということです。

そうした技量を兼ねそなえている地元在住の高

齢者のお客様を案内することで、個人客のお世話サービスが向上し、好印象による評判とリピーターの獲得につながるはず。担当する高齢者にとっても、お客様に喜ばれることに働きがい、生きがいを感じることができます。

まさに旅館業こそ“高齢者活用のステージ”であると考えます。

“旅のソムリエ”憲章

- 一. 我々は、お客様に伊豆を楽しんでもらうため地元の旬の情報を提供します。
- 二. 我々は、情報の共有とソムリエとしてのネットワーク創りに努力します。
- 三. そして我々は、皆様と共に伊豆を守り育てます。